

地域共創研究科 入試説明会 (2021年10月6日)
行われた質疑応答の概要

〈入試の内容について〉

- Q. 「共通問題」とは、どのような問題が出題されるのか。
- A. 人文社会科学系のどの分野でも必要となる研究リテラシーに関するものである。研究科全体のアドミッション・ポリシーでも示している論理的思考、論理的理解力、といったところである。なお、英文読解の問題ではない。
- Q. 修士論文コースの筆記試験(選択問題)は、旧専攻の筆記試験科目を参考にできるのか。
- A. できる。過去問は事務室に来ていただければ、コピーは渡せないがメモなどを取ってもらうことができる。
- Q. コロナで来沖できない外国人に対し、入試はリモートで受験できるのか。
- A. できる。海外の方で、コロナ禍の影響で来日できない場合には、リモートで受験できるようにする体制を整えている。

〈出願の仕方について〉

- Q. 出願書類は必ず郵送しないといけないのか。
- A. 事務室に直接持参しても良い。
- Q. 特定課題コースは事前相談が必須とのことだが、10月15日までに申請し、教員とコンタクトし、その後出願、ということが良いか。
- A. その通り。事前相談の申請が10月15日〆切。出願期間は10月22日～11月4日だが、出願書類の中に事前相談済みであることのチェック項目が含まれているので、教員との事前相談が出願までに間に合うように注意していただきたい。
(※2月試験の場合、事前相談の申請〆切は12月17日、出願期間は12月22日～1月11日。)
- Q. 募集要項に書かれている研究指導教員以外を指導教員にすることはできるか。
- A. できない。研究指導には資格が必要で、募集要項に書かれている研究指導教員が、この資格を有する教員の全てである。
ただし、それ以外の教員も科目担当はしているので、その教員の授業をとって学び自身の研究を充実させることは可能。
- Q. 特定課題コースの研究課題レポートは、出願書類に含まれるのか、それとも試験日に提

するのか。

A. 出願書類に含まれる。

〈入学後の学びについて〉

Q. 研究に際し、指導教員とは別に、他の学の教員からもサポートは受けられるか。

A. 指導教員とよく相談したうえで、他の教員からも助言などを得ることはできる。

Q. 社会人の学生への授業対応はどのようになっているか。

A. 社会人が参加できない授業というものは極力減らすように進めている。まず、本学では18時以降に開講される6限目、7限目、という時間帯を設けている。また、オンラインの授業形態も検討している。全ての授業が6～7限目開講あるいはオンライン開講するとは言えないが、指導教員や科目担当教員に希望を伝えよく相談してほしい。さらに、長期履修制度（2年間の授業料で、最長4年間在学して計画的に課程を修了する制度）も用意している。

Q. 地域公共政策士はどのプログラムに所属しても取得可能か。

A. 可能である。どのプログラムの所属であれ、修士論文コースであれ特定課題コースであれ、所定の科目を履修して単位取得していけば地域公共政策士の資格を取得できる。

〈臨床心理プログラムについて〉

Q. 臨床心理プログラムについて、まとめて数ヶ月の実習に入れる保証がないと受験すら出来ない大学院もあると思うが、地域共創研究科ではどうか。

A. 今も実際、長期履修制度で来ている社会人はいる。数ヶ月の実習と言っても、毎日実習に行くわけではない。たとえば決まった曜日に時間を確保して、週何日かは仕事、週何日かは学業・実習に当てる、というかたちでみなさん対応されている。

Q. 公認心理師の受験資格取得時に、学部時代に取得した単位の読替が必要になると思うが、読替の手続きは志願時に行う必要があるのか、それとも入学時に行うのか。

A. 公認心理師の試験は琉球大学が行うものではないので、いつ読替してもいい。ただ、公認心理師になることを最大の目的とする方の場合、入学してから実は学部の単位の読替ができなかったと判明してしまうと大変なので、出願前にご自身の所属している大学で確認することを、個人的にはお勧めする。

Q. 臨床心理プログラムでは、過去の修論テーマはどのようなものがあったか。院生指導にあたって最も重視されていること、心がけていることがあれば伺いたい。

A. 修論テーマは、たとえば発達障がいを持つお子さんの保護者と身体障がいを持つお子さ

んの保護者は、障がいの受入についてどういう違ったプロセスをたどっていくのか、とか、マインドフルネスに関する研究とかがある。

もっとも重視することは、個人的な見解だが、とにかく研究は学生がすることであって教員はサポートしかできないので、どのような研究をしたいのかというビジョンをしっかりと持って下さるのが大事。また臨床心理ということで、実際に困難を抱えている人に支援するということに向けて、研究ではあるが臨床につながるような志向性をもつということは重要だと思う。

Q. 臨床心理プログラムの実習先はどんなところがある？

A. たとえば病院・医療機関、教育系機関、司法関係・少年院、障がい児のキャンプなど。多岐にわたっている。